

# 西白井に葬祭場が

## 説明不足の業者に住民が不満

### 交通渋滞を心配する声も

#### 「まちづくり審議会」でも討議

西白井駅南側近くに葬祭場が建設される。業者側の説明不足への不満や交通渋滞を引き起こすのではないかと不安を抱く周辺住民が少なくないことから、2日に開かれた「まちづくり審議会」でも取り上げられた。

#### 地上二階建て十月着工

セレモニーホール（イフケア西白井）の建設予定地は、464号線沿いの学校給食共同調理場の並び。文房具販売会社のビル跡地（根字八幡1072・1）だったところだ。建て主は、㈱ライフクリエイト（千葉市中央区）。敷地面積は3594㎡で、建物は地上2階建て（高さ9・9m、延床面積1406㎡）。10月に着工し、来年3月に完成の予定だ。4月7日に業者側から市に事業提出され、5月12日から26日まで縦覧期間中、7名が縦覧した。その後、近隣住民から3件（内1件は15名の署名付き）、他の市民からも1件（197名の署名付

き）意見書が提出されている。北総線沿線には、すでに小室駅近くにセレモニーがあることから、西白井駅への進出に首を傾げる近隣住民は多い。また建設面積が住民説明会の必要のない3000

0㎡以下だったため、建設計画の資料が周辺地区にポステイングされただけに、これも周辺住民が不満に感じる要因となった。7月2日、市長の諮問機関「まちづくり審議会」が市役所で開かれ、葬祭場建設が議題となった。議員6名を含む17人が傍聴。当日は傍聴席からの発言も許され、「住宅地の真ん前に葬祭場ができる」と住環境が損なわれる、「土地の価値が下がってしまう」などの意見が出された。これらの意見をふまえて同審議会は、資料の配布だけではなく、自治会長を含む数名と話し合いの場をもつ、交通渋滞が起こる可能性もあるので、安全上の方策を考える、住宅側を緑化する

## 訃報・柳田幸節さん死去

### 環境の守護神として街の美化に尽くす



白井駅南口の高層マンション建設で市側に陳情する柳田さん（昨年8月）

市民活動家の柳田幸節さん（堀込1）が7月1日未明、肺ガンで亡くなった。享年80歳。本紙の人物紹介シリーズ「博人館」にも登場した柳田さんは、北総線運賃の値下げを実現する会（北美会）をはじめ、「ポイ捨てをなくす運動」、百人会議など様々な市民活動に参加するなど、一貫して市民の利益を追求してきた。また白井駅地区区長連絡協議会環境部会の部長だった柳田さんは、きれいにしようみんなのまちを」をキャッチフレーズに「まちピカ隊」の結成に尽力。こうして「白井駅前美化活動」（毎月第4日曜）がスタートし、今でも毎回60人も市民が参加している。最近では、白井駅南口の高層マンション建設に反対し、「白井駅前広場を守る会」を有志数人と発足させ、共同代表に名を連ねた。しかし、昨年未から体調を崩し、3月には退院したが、再び入院し帰らぬ人となった。親交の深かった堀澤三千男さん（66）は、「2年前まで本当にお元気な、実際よりも10歳も若く見えた。ボランティア精神が旺盛で、街の美化や環境保護に対する熱意が人一倍強かった人で、す」と肩を落とす。2日の通夜と3日に行われた告別式には、述べ約300人が参列し、故人との別れを惜しんだ。

#### 「京成本線並みの運賃求める」署名

# 十万人突破

#### 北総線の運賃値下げを実現する会



北総線の値下げを実現する会（以下「北実会」、吉田治男会長）は、1月下旬から京成本線並みの運賃を目指して、10万人署名キャンペーンを展開してきたが、6月22日10万人を突破し、目標を達成した。7月3日現在の署名数は10万2539名。皆さんの御協力で目標を達成することができました。7月下旬に署名を携えて国土交通大臣に陳情

しますが、運賃値下げをぜひとも実現してもらいたい」（吉田会長）

#### 白井清掃センター解体工事進む

3月から取り壊しが始まった白井清掃センター（南山2）は、5月末から建屋内の機器解体作業と煙突の除染・解体作業に入った。解体工事を請け負っている安藤建設によると、建屋内の機器洗浄はほぼ終了し、その後のサンプリング測定でもダイオキシンなどの汚染度は基準値を大きく下回っているという。解体工事は10月まで続く予定だ。

#### 盆踊り大会の花火 商工会が募金を呼びかけ

白井商工会青年部らが主催する「白井夏祭り納涼盆踊り大会」が8月23日に白井第一小学校で行われることになった。打ち上げ花火も予定されている。

#### 白井駅前合同夏祭り 今年も駅前広場で

「白井駅前合同夏祭り」が8月2、3の両日、白井駅前広場で開催される。駅前広場は立木が多く、ステイジや模擬店などの配置が難しいが、実行委員会では成功に向けて奔走している。

## 中村市長 不出馬「宣言」

白井市議会は6月30日、第2回定例会（6月議会）を終了した。が、すべての議事が終了した後、中村教彰市長が議長

に発言を求め、11月に予定されている市長選に「健康上の理由」で出馬しないと表明した。市長選には、前回も立候補した元市議の女性がすでに出馬の意思を固めている。中村市長の不出馬宣言で、元市議の独走となる

しろい通信 vol.34

発行部数 1万6000部 隔月刊  
白井市南山1-3-8-101  
TEL(047)492-2396  
FAX(047)492-2364  
編集人/草野富佐子  
発行人/幸正純治

平成20年(2008) 7月号